

ひさかたのをとめ
土形娘子を泊瀬の山に火葬る時に、
かきのもとのあそみひとまろ
柿本朝臣人麻呂の作る歌一首

四二八番

こもりくの 泊瀬の山の 山のまに いさよぶ雲
は 妹にかもあらむ

おほほ
溺れ死にし出雲娘子を吉野に火葬る時に、
かきのもとのあそみひとまろ
柿本朝臣人麻呂の作る歌二首

四二九番

山のまゆ 出雲の児らは 霧なれや 吉野の山の
嶺にたなびく

四三〇番

やくもさす 出雲の児らが 黒髪は 吉野の川の
沖になづさふ